

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【公開番号】特開2006-289068(P2006-289068A)

【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2006-72077(P2006-72077)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透光性基板と、前記透光性基板の一方の面上に設けられた第1の透光性電極、前記第1の透光性電極上に設けられた発光物質、及び前記発光物質上に設けられた第2の透光性電極を備える発光素子と、を有する表示画面と、

前記表示画面に設けられた入力手段と、

前記表示画面の背面に設けられた遊技盤と、を有し、

前記表示画面と前記遊技盤との間に、光反射性を有する球を通過させることによって、前記発光素子の発光を散乱させ、

前記入力手段に外部から入力される情報により前記表示画面に表示される画像が変化することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機は、可撓性フィルム上に形成された表示画面を有することを特徴とする遊技機。

【請求項3】

透光性基板と、前記透光性基板の一方の面上に設けられた第1の透光性電極と、前記第1の透光性電極上に設けられた発光物質と、前記発光物質上に設けられた第2の透光性電極と、を有する第1の表示画面と、

前記第1の表示画面に設けられた入力手段と、

前記第1の表示画面の背面に表示が行われる第2の表示画面と、

前記第2の表示画面を前記第1の表示画面表面に対して平行な軸を回転軸として回転させる回転手段と、

前記第2の表示画面の回転を停止させる停止手段と、を有し、

前記第1の表示画面及び前記第2の表示画面は、発光素子により表示が行われ、

前記回転開始手段により前記第2の表示画面を回転させることによって、3次元画像を表示し、

前記回転停止手段により前記第2の表示画面の回転を停止させることによって、2次元

画像を表示することを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 請求項 3 いずれか一において、前記入力手段はセンサまたはタッチパネルであることを特徴とする遊技機。